



# 教員が研究の楽しさを語る

## 第221回(5/21)石和田稔彦先生推薦

### ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

#### Book1

### 死の貝

※亥鼻分館で所蔵しています。

著者：小林照幸著

出版：文藝春秋, 1998.7

コメント：昔、山梨県で流行していた住血吸虫症という寄生虫症の感染経路を、人々が力をあわせて解明し、地方病を根絶してゆく姿を描いたノンフィクション作品。



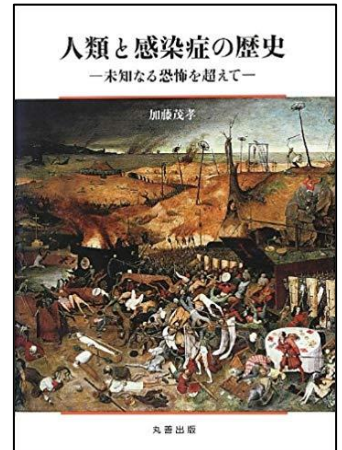
#### Book2

### 未知なる恐怖を超えて(人類と感染症の歴史)

著者：加藤茂孝著

出版：丸善出版, 2013.3

コメント：天然痘、ペスト、ポリオ、結核などの感染症が社会に対していかに大きな影響を与え、いかに歴史を動かしてきたか、人類はどのようにこれらの感染症と戦って生き延びてきたのかについて記した作品。



#### Book3

### 遠き落日 上・下

著者：渡辺淳一著

出版：角川書店, 1979.9

コメント：猪苗代湖畔の貧農の家に生まれ、苦難を乗り越え、医師となり渡米し、超人的なスケジュールで研究を行い活躍し、アフリカで生涯を終えた野口英世の劇的な人生を描いた作品。吉川英治賞受賞。

